

- 大洲市教育委員会を通じ、大洲市と合同で市内の小学校に出向き、防災教育を継続的に実施。
- 小学校4年生を対象に、肱川の「洪水」をテーマとした防災教育教材を提供。
- 若手職員が講師となり、単元「自然災害からくらしを守る」（10時間）についての学習を行う。
- 大洲市危機管理課や大洲市消防団も講師となり、座学・活動体験を実施。

（令和4年度実績：6校）

【国土交通省】

災害時では誰がどのような活動を行っているかについての学習を行った。



【大洲市危機管理課】

自分の命を守るためには何ができるのか、防災活動ではどのような人が活躍をしているか学習を行った。



【大洲市消防団】

洪水時の消防団の方は、水防活動・避難誘導等をどのような活動をしているか学習を行った。

